11.沖縄(地域別調査機関:(財)南西地域産業活性化センター) (・:回答が存在しない、 :主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	- ・ 回答が存在しない、 ・ ・ 上にりに回答等が存在しない) 景気の先行きに対する判断理由
家計	良くなる		
動向関連	やや良くなる	コンビニ(経営者)	・スポーツイベントが予定されていることから、近くのホテルに学生の宿泊が増え、日用雑貨やデザート等の売上増加が 期待される。
		コンビニ (エリア担当)	・SARSなどの旅行を拒む要因が落ち着いたことから、今後好調に推移すれば、コンビニには好条件となる。
		その他飲食[居酒屋] (経営者)	・極度の安売り合戦は変わらないが、一部では、多少高くて もより良いもの、自分に合っているものを求める人たちが増 えている。
		旅行代理店(経営者)	・SARSの終息とともに、夏に向け人が動き出し、旅行者が増加する。
	変わらない	一般小売店[菓子] (企画担当)	・菓子業界では例年、夏場は閑散期であり、それも重なり引き続き客単価の低価格化が続く。
		スーパー(経営者)	・来客数については前月並に推移しているが、競合店の出店 等による価格競争の更なる激化により、客単価が依然厳しい 状況にある。今後も競合店の出店等が予想され、現状と変わ らず今後も厳しい状況が続く。
		スーパー(企画担当)	・商品単価が上がる要因が今のところ見受けられず、各社安売り合戦が始まっている状況下で、この状況はしばらく続く。
		家電量販店(副店長)	・競合店との価格競争の激化により販売価格が変化しており、客も特価商品に目が向いている傾向が続いていることから景気は変わらない。
		都市型ホテル (マーケ ティング担当)	・SARS問題が海外で終息に向かっており、これまで海外旅行を控えていた人達が夏休みを利用して海外へと動きが活発になると予想されることから、今期は海外との競合になる。夏場の観光が入れば、アススが記される。
		ゴルフ場(経営者)	て不安と期待が入り混じっている状況である。・単価を落としたことで来客数、売上も上昇したが、根本的な改善とはいえないことから、今後もさほど変わらない。
		住宅販売会社(従業 員)	・住宅減税効果により当社住宅部門の売上は目標を上回って いるが、8月以降の受注に先細り感が出てきつつある。
	やや悪くなる	百貨店(総務担当) コンビニ(エリア担	・ギフト商品の需要も縮小傾向にあり、プラスの要素がみあたらない。
	悪くなる	コノヒー(エリア担 <u>当)</u> 商店街(代表者)	・今後の競合店との競争激化やたばこ値上げ後の買い控えにより売上がやや縮小傾向となる。 ・商店街では観光客向けの店舗が多くなっており、同業者の
	あくなる 	间点性 (1C衣有)	みのため一般的な買い物するには不便な状態となっている。 国際情勢が悪化することがあればすぐに打撃を受けるのではないかと危惧している。小売店からも日々売れないとの話し
			か耳に届かないことから、今後も厳しい状況が続く。
企業	良くなる	-	-
	やや良くなる	通信業(従業員)	・比較的大きな案件の継続がしばらく続く。
関連	変わらない	不動産業(支店長) 不動産業(従業員)	・景気が良くなる材料が見あたらない。 ・同業者の倒産が続いており、今後も同様の状況が続く。
	やや悪くなる	建設業(経営者)	・問い合わせや、モデルハウスに来場する客の数が減少して いる。
		輸送業(営業担当)	・中元商品等の出荷が増える見込みはなく、またその他のものの動きも期待できないので、悪くはなっても良くはならない。
	T (to 2	通信業(営業担当)	・廉価商品への引き合いが多い。
<u> </u>	悪くなる	-	-
雇用	良くなる		・ヘキスにかい言庭かしせんぶ楽は括売された。もの、がた
関連	やや良くなる	人材派遣会社(経営者)	・今までにない高度な人材の派遣依頼要請があったり、新たな企業からの打診もある。社会の環境が変化してきているが、その中で新しい人材要求が発生しており、そこに手を付けることができれば更に拡大ができるのではと期待してい
		人材派遣会社(営業担 当)	る。 ・単発的だがプロジェクト案件が増加傾向にあり、やや期待 が持てる。
	変わらない	求人情報誌製作会社 (営業担当)	・企業側の応募に対する採用数は、先月同様増加しているが、それがすぐに好転に向かうかは、まだ先行きが分からない状態である。

	学校[専門学校](就	・新規求職者数は4,558人で前年同月比5.0%の増加となっており、それはパートや中高年者の求職者増加が主な要因となっている。新規常用求職者の離職理由を構成比でみると、自己都合離職者は47.7%、事業主都合離職者は31.8%、在職者は8.6%、無業者は9.3%となっており、対前年同月比で自己都合離職者が6.2%増加し、事業主都合離職者は4.5%の減少となっている。 ・求人動向にはさほど変化はなく、今後も新規の求人に期待が見込めない。
やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-